新型コロナ関連や品質重視の要望を更に前へ！

東京ビルメンテナンス政治連盟
発行責任者　梶山龍誠
〒116-0013
東京都荒川区西日暮里5-12-5
ビルメンテナンス会館
TEL 03-3805-2950
FAX 03-3805-7550

令和3年事業・決算報告を承認

東京ビル政連は2月25日、ビルメンテナンス会館で第17回評議員会をWeb会議ツールを併用して開催し、「令和3年事業報告承認の件」と「令和3年決算報告承認の件」について審議、全会一致で承認した。また、「令和4年運動方針・事業計画」「令和4年予算」、東京都や国への要望の回答について報告が行われた。

第17回評議員会開催

評議員会冒頭挨拶を述べる梶山理事長

来賓挨拶に立たれたビルメンテナンス議員連盟副幹事長・宇都隆史参議院議員

冒頭、司会の高橋誠事務局長が、評議員会の定足数や会場への出席者、Web会議ツールによる出席者、委任状提出者、議決権行使書の提出者を挙げ、「本評議員会は有効に成立」と宣言。Web会議ツールによる出席者の動向については、「事務局職員が確認しております。挙手等があった際は速やかに議長にお伝えいたします」と告知。続いて、議長に株式会社サイオーの井ヶ田伸宏常務取締役、議事録署名人には井ヶ田議長のほか日建管財株式会社の佐藤博代表取締役社長が選出された。

来賓挨拶では、ビルメンテナンス議員連盟の副幹事長として業界の活動を支援していただいている宇都隆史参議院議員が、「昨年の東京オリンピック・パラリンピックでは、ビルメン業界の皆様にご活躍いただき、あらためてビルメン業界が日本の安心と安全、そして快適な空間を守るために、なくてはならない存在であることを証明いたしました。業界のお一人お一人の使命感、士気が高まった年であったと思います。昨年を契機として、業界の更なる発展、そして社会が持続可能な発展を遂げていくために、私どもも更に尽力させていただきます」と意気込みを語った。

審議事項に挙手で賛意を示す評議員の皆様

宇都議員の挨拶に対し梶山龍誠理事長は、「本日は公務ご多忙の中、ご挨拶をいただき誠にありがとうございます。ビルメンテナンス議員連盟のメンバーとして、品確法の改正等に大変ご尽力をいただき感謝申し上げます」と謝意を表明。

理事長挨拶では、「振り返りますと、昨年は新型コロナ感染症との戦いの連続でしたが、当政連といたしましては、協会や全政連と連携し、コロナ禍に苦しむ業界要望の実現に向け、国や東京都への要望活動を実施し、エッセンシャルワーカーとしてワクチンの職域接種の対象となるよう拡大させるなど、大きな成果を上げました。引き続き、新型コロナに関連する業界要望や品質重視の流れを確実にする取り組みを進めてまいります」と要望活動の成果や抱負を語った。

また、議案については、「令和3年の事業報告と決算報告の2議案です。昨年の活動を総括し、本年の活動につなげる重要な議案です」と強調して、厳正な審議を要請。さらに、7月には参議院議員選挙が予定されていることから、「業界要望を実現するためには、業界の理解者である議員を増やす活動も重要です」と、あらためて一層の協力を求めた。

議長をつとめた井ヶ田評議員

審議事項の令和3年事業報告承認の件については、横田英雄幹事長が提案説明。東京都所有の建築物の維持管理に関する要望活動としては、8月31日に都議会自由民主党、都議会公明党、都議会立憲民主党・民主クラブに対して実施、10月12日に都議会自民党ビルメンテナンス業振興政策研究会との意見交換会を開催したことを説明。

提案説明をする横田幹事長

要望項目では、「障害者雇用の促進で、モデル入札案件の創設については内容が常用雇用にはほど遠いものでしたので、常用雇用につながるモデル案件の創設を要望しました。また、新型コロナウイルス感染対策については、エッセンシャルワーカーであることを訴えるとともに、適切な対応や補償について要望しております」と、昨年との内容の変更点を挙げた。

関係諸法令等の改正に関する運動では、自由民主党東京都支部連合会、その他に対する要望活動や要望の進捗状況を説明。

▼第26回参院選 宇都隆史氏推薦を決定

東京ビル政連は、7月25日任期満了に伴って実施される「第26回参議院議員選挙」の推薦候補者について審議した。

東京ビル政連では、事業計画の一つとして、ビルメンテナンス業界の理解者である議員・議員候補者の支援活動を掲げており、令和4年の事業計画では特に「本年は参議院議員選挙の実施が予定されており、ビルメンテナンス議員連盟所属議員を中心に推薦等の応援活動を行う」ことを追加した。この方針の下、国会のビルメンテナンス議員連盟に所属し、業界要望の実現に多大なるご尽力をいただいている自民党の宇都隆史氏を、東京ビル政連として推薦、支援することを決定した。

◎宇都隆史（うとたかし）氏（自民党・比例区）参議院議員当選2期、外務副大臣、外務大臣政務官、外交防衛委員会委員、東日本大震災復興及び原子力問題特別委員会委員、憲法審査会委員、ビルメンテナンス議員連盟副幹事長

令和3年収支決算報告（令和3年1月1日から令和3年12月31日まで）

単位　円

項　目	金　額	備　考
Ⅰ収入の総額	30,467,128	
1 前年からの繰越額	16,381,024	
2 本年の収入額	14,086,104	
(1)機関紙購読料等の事業収入	13,686,000	機関紙購読料 7,500円、機関紙広告掲載料
(2)その他の収入	400,104	全政連交付金
Ⅱ支出の総額	14,190,331	
1 経常経費の合計	2,600,400	
(1)人件費	1,821,600	協会への事務委託費用（月額151,800円×12か月）
(2)備品・消耗品費	316,800	事務用品・パソコン使用料等協会への分担費用（月額26,400円×12か月）
(3)事務所費等	462,000	賃借料・電話使用料等協会への分担費用（月額38,500円×12か月）
2 政治活動費の合計	10,579,231	
(1)組織活動費	5,535,656	全政連分担金、評議員会資料印刷費、会議開催費、パーティー券購入等
(2)選挙関係費	2,836,507	都議会議員選挙推薦料、衆議院議員選挙推薦料
(3)広報活動費	2,207,068	機関紙発行費・ホームページ制作費
3 その他の支出	1,010,700	令和2年賦課消費税、令和3年中間消費税
翌年への繰越額	16,276,797	